

◆HCK-602FB よくあるご質問

トラックなど24V車両のバッテリー診断は可能ですか？

A バッテリー診断は12Vバッテリー単体でそれぞれ診断を行ってください。取扱説明書14ページをご参照ください。システムテストは24Vの状態を実施可能です。24Vシステムテストを選択しシステムテストを行ってください。取扱説明書23ページをご参照ください。

24V車両のバッテリー診断の際、渡り線を取り外して診断する必要がありますか？

A 渡り線は取り外さず診断ください。

メンテナンスフリー(MF)※バッテリーは対応していますか？

※類似語：密閉型、VRLA、シールド、AGM(アブソード・ガラスマット：Absorbed Glass Mat)等々

A 対応しております。診断されるバッテリーの種別により操作手順が異なります。取扱説明書の16ページ以降(バッテリーテスト)をご参照ください。

EN規格のバッテリーも測定可能ですか？

A 測定可能です。バッテリー規格選択画面にてEN(DIN)規格を選択ください。測定時CCA規格値の入力が必要となるため、事前にCCA値をご準備ください。CCA規格値はバッテリーのラベルや個装箱、バッテリーメーカーホームページ等でご確認願います。

アイドリング車用のM42のバッテリーは対応していますか？

A 対応しております。テスト方式：充電制御/アイドリングストップ選択後→リスト選択：M42を選択ください。当該型式がリスト一覧に表示されない場合は、弊社ホームページよりバッテリーチェッカーのアップデートを行ってください。

LN2、LN5のバッテリーは測定できますか？

A 測定可能です。測定可能なバッテリー型式一覧表は弊社ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。型式一覧表に記載されており、お客様がご使用のバッテリーチェッカーに対象希望のバッテリー型式が表示されない場合は、機器のバージョンアップを実施いただくことで測定可能となります。

車両にバッテリー型式『345LN1』が装着されているが、測定する際にどの型式を選択したらよいですか？

※LN1？ 355LN1？ 型式選択時に『-F、-G』とあるがこの意味は何ですか？

A 測定型式の選定については、まず『LN1』を選択ください。性能ランク(先頭345、355等の部分)やバッテリーメーカー名(-F：古河電池、-G：GS・ユアサバッテリー)までが一致する場合はその型式を選択ください。実際のバッテリーに沿った測定を行います。

JIS型式選択画面において、測定したいバッテリーのJIS規格が一覧に含まれていない。

A 弊社ホームページ上のHCK-602FB搭載JIS型式一覧をご参照ください。

JIS型式の記載がある → 機器のアップデートを実施ください。

JIS型式の記載がない → CCA入力より診断を行ってください。



バッテリー規格選択時、JIS以外を選択した場合には全てCCA入力を要求されるが、どの選択肢を選んだとしても問題ありませんか？



EN(DIN)規格やSAE規格(BCI)以外のバッテリーを測定される際は、CCA入力をご選択ください。バッテリーの規格に準じた選択肢をお選びいただくことでより正確な測定が可能です。



充電量がある程度あるのに健全性が『 ?% 』と表示されるのはどうしてですか？



測定したバッテリーの電圧が低すぎるため、正確な判定が行えず健全性を表示しません。バッテリーを充電していただき再度測定を行ってください。



バッテリーテストレポートの温度表示(℃)は何を意味していますか？



バッテリー端子周辺の温度を指し示しております。バッテリー診断結果に影響いたします。バッテリークリップ内に温度センサーがございますため、クリップのお取り扱いにご注意ください。取扱説明書50ページに温度設定方法が記載されております。



ロール紙1ロールで何回プリントアウト出来ますか？



お客様にて設定されましたヘッダー・フッターの印字内容によって異なりますが、約50回程度プリントアウトできます。



現在のバッテリー電圧値の確認は可能ですか？



確認可能です。バッテリーへ接続後、テスト選択画面に表示されております。取扱説明書16ページをご参照ください。バッテリーテストレポート(印字)にも測定時の電圧値は記載されております。取扱説明書23ページをご参照ください。



旧機種のHCK-601/601PLUSはバッテリーテストの後、引き続きシステムテストが行えましたが、HCK-601FB/602FBは最初に戻ってからのシステムテストが出来ないのはなぜですか？



HCK-601/601PLUSをご使用のユーザー様よりご要望いただきシステムテストを独立項目として設定させていただきました。従来機種ではシステムテストを行う際はバッテリーテスト後にしか実施できませんでしたが、HCK-601FB/602FBでは独立項目にすることで、システムテストを実施し忘れた場合やバッテリーテストを行わずシステムテストのみ実施したい場合などにスムーズな診断が可能となっております。また診断結果の印刷に関しましても、HCK-601/601PLUSではシステムテスト結果を印刷する場合、必ずバッテリーテスト結果も印刷されておりましたが、HCK-601FB/602FBではそれぞれのテスト結果が印刷できるようになっております。



ロール紙はどこで購入できますか？



バッテリーチェッカーをご購入いただいた店舗へお問い合わせください。



『 Disk Formatting 』が表示され、本体が起動しない。



『Disk Formatting』が終了しない場合は本体のプログラム異常が考えられます。ご購入いただいた店舗へご相談ください。